

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第15号 平成23年5月26日

達脇奮起の10奪三振！

野球に負けて、草野球に勝利した・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
C	0	0	0	0	0	0		0
G	0	1	0	0	0	0		1



5/26(土) 御幸公園野球場にて、クレージーナイツとのKSC予選リーグを戦った。内容は、非常にモヤモヤ感の残る結果でゲームは終わった。今日の先発は達脇、初回いきなり2連続安打を喫し、無死1・2塁としたが、その後2者連続三振を奪取し、この間の盗塁を交え、場面は二死2・3塁。しかし、後続を遊ゴロに打ち取り初回0封発進とした。続く二回には二者連続三振としたが、後続に左線に2ベースを放たれ、またもやスコアリングポジションにランナーを背負う展開、が、次打者の4球目にセカンド牽制を試み、これが、ドンピシャのタイミングで牽制死を得て、この回も0に抑えた。3回からは、出塁を許すものの、肝心な場面では、三振ショーを演じ、見事6回までは3塁を踏ませない、及第点の内容であった。そんな中、打線においては、梅雨前だということに、非常に湿った内容である。初回、相手投手の制球難で一死満塁、早くも先制の場面であったが、この場面に2者連続三振で得点出来ず、続く回には、死球で出たランナーを盗塁と進塁打でサードまで進め、二死三塁の場面では、たかあきがセカンド強襲で1点を先制したが、結果、得点はこの1点のみ、4回にも二死ではあったが、三塁まで進めたものの、適時打が出ず、残塁と凡退の山を築いていった。そんな中での最終回、この回先頭打者を見逃三振とし、達脇の完封勝利かと思った瞬間、次打者に右越の3ベースを放たれ、一気に同点シーンに変化した。実はこの打者には、その前に2ベースを放たれたが、打たれたのは、この回も含め、まっすぐだっただけに、もう少し配球に気遣いが必要だったかも知れない。ただ、余計だったのは、次打者に与えた四球であった。今日10奪三振を演じたが、この9番打者において打数を立てる事が出来ず、全て四死球で出塁をさせた。そして、打者は先頭、この先頭は1打席目に左前に運ばれているだけに、注意が必要。ここで内野陣がマウンドに集合し、意識の確認を行った。予想されるのは2盗、その予想とおり、初球から2盗を狙ってきた走者を刺すために投げた捕手からの送球が反れ、この間に三塁からホームインされ、同点とされた。場面は一死2塁、次打者の放った打球は、ハウンドの高いサードゴロ、難しい打球処理であったが、これがサードの失策を呼び1死1・2塁、続く打者に4球目を右中間に2ベースとされ。2走者がホームインし、この回3点を与えてしまった。一気に2点を追い掛ける内容に変化した最終回の攻撃、先頭・次打者と倒れ、誰もが敗戦と脳裏にヨギッタが、たかあきが四球を選択し出塁、その後2盗を決め、場面は二死2塁、ここで哲也が粘りを見せ、5球目を叩いたが、詰まった三塁ゴロ、懸命に走る姿に野手が1塁に送球エラー、この間にたかあきが一拳ホームインし、その差は一点、この場面に祐太郎が打席に入る、入ろうとした瞬間、バックネット方向から、終わり、時間だよ、と、愛想の無い声、その主は球場管理者、相手チームに取っては後一死取る事が出来ず、我がチームにおいては、後一死取られなかった事が、本日の結末となった。最後は、何か申し訳ない気持ちも感じたが、ルールはルールなので、勝ちに対しては、正直に喜ぼう。但し、内容に関しては、6回まで特段の守備の問題は無かった事から、今日の要因は打線に尽きるでしょう！打線は水物とは言うものの、もう少し、打者は打席に入ったからには、気持ち良いスイングや、バットに当てる事を試みなければ、結果は起きず、勝利を手にする事は出来ないであろう。前節が非常に良い内容で有っただけに、今日のゲームは最後に林が語った言葉が実は大きな要因だったかも知れない・・・ 次節はダブルであるが、気持ち切り替えスキッと2連勝を目指しましょうや！